

～ショスタコーヴィチ没後50年に寄せて～

実田原
風綾子
&
Piano & Viola

デュオリサイタル

2025年
9月15日(月祝)

開場 14:30/開演 15:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

<プログラム>

G.フォーレ:

夢のあとに Op.7-1

9月の森で Op.85-1

歌曲集「閉ざされた庭」 Op.106

「イヴの歌」より 楽園 Op.95-1

D.ショスタコーヴィチ: ヴィオラとピアノのためのソナタ Op.147

*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。



沈黙のなかのうた
ヴィオラとピアノが紡ぐ、祈りと記憶の音楽

©Hisashi Morifuji



Shibuya Mitake Salon (vol.184)



●ご予約・お問い合わせ株式会社 ILA (渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日 10:00-18:00)、070-2168-8484(繋がりにくい場合) Webサイト: <https://x.gd/UJr6sX>

田原 綾子 & 實川 風

デュオリサイタル ～ショスタコーヴィチ没後50年に寄せて～

2025年9月15日(月祝) 開場14:30/開演15:00

【入場料】

会員 4,500円(座席指定可) / 一般 5,000円 / 学生 2,500円(全席自由席)

沈黙のなかのうた—— ヴィオラとピアノが紡ぐ、祈りと記憶の音楽

2025年、ドミニク・ショスタコーヴィチ没後50年。

最晩年に遺された《ヴィオラとピアノのためのソナタ》Op.147を軸に、ひとつの静かな対話が始まる。

そこに寄り添うように置かれたのは、ガブリエル・フォーレの晩年の歌曲たち。

『夢のあとに』《9月の森で》《楽園》《閉じられた庭》—— いずれも、言葉では語り尽くせない感情が宿る詩的な作品である。

言葉の奥にひそむ“声なき声”が、まるで空気の中を漂う光のように、音楽として立ち上がる。

歌詞を持たぬヴィオラでそれらを奏でるという挑戦に、田原綾子は迷なく身を委ねる。

中低音域に宿るヴィオラ特有の温もりが、言葉では語り尽くせない感情の襞を、詩のように、あるいは祈りのように紡いでいく。

田原のヴィオラには、楽器への深い信頼と音楽への愛がにじむ。

「ヴィオラが好きでたまらない」と語るその姿勢は、演奏の一つひとつ、そしてあの笑顔にも自然に表れている。

技巧のための音ではない。

何かを説明するための音でもない。

そこにあるのは、ただ“歌う”ということへの純粋なよろこびだ。

彼女の音が鳴ると、空間がふと柔らかくなる。

それはきっと、楽器を心から愛し抜く者だけが奏でられる、特別な「うた」なのだ。

後半に置かれたショスタコーヴィチの《ヴィオラとピアノのためのソナタ》Op.147は、まさに作曲者の絶筆。

亡くなる数週間前に完成されたこの作品には、死の予感とともに、なお音楽への執着が静かに刻まれている。

第3楽章では、ベートーヴェンの《月光ソナタ》がひそやかに引用される。

それは過去への回帰なのか、それとも永遠への入口なのか—— 音楽だけが、静かにその答えを知っている。

實川風のピアノは、そうした音楽の深層にごく自然に寄り添う。

自己主張ではなく、音楽への献身。



大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



誕生。渋谷駅徒歩2分 宮益坂、クラシック音楽サロン、



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)
070-2168-8484 (繋がりにくい場合)
Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

鋭い知性と繊細な感性、美への誠実な姿勢を併せ持ちながら、流れる清流のように音と音のあいだをつなぎ、時には“沈黙そのもの”を音楽へと変える。

フォーレの淡い和声がふと沈み込む瞬間、ショスタコーヴィチの旋律が断絶と再生を語るとき、そのすべてを實川のタッチが確かに受け止めてゆく。

そしてあらためて気づかされる。

ヴィオラとピアノ—— この二つの楽器の対話が、どれほど繊細に、どれほど深く人の心の奥にまで降りていけるのかということ。

目を奪うような華やかさも、大きく揺さぶるような激情も、ここにはない。

がしかし、だからこそ響くものがある。

音楽が音楽であること、その根源にある、静かで凜とした美しさ。

その核心に触れるひとときとなるだろう。

(渋谷美竹サロン)

田原 綾子 (Ayako TAHARA) Viola

第11回東京音楽コンクール、第9回ルーマニア国際音楽コンクール優勝。

桐朋学園大学を卒業後、パリ・エコールノルマル音楽院、桐朋学園大学大学院、デトモルト音楽大学をそれぞれ最高得点で修了。

これまでに藤原浜雄、岡田伸夫、ブルーノ・バスキエ、ファイト・ヘルテンシュタインの各氏に師事。

国内外でソロリサイタルが定期的に行われており、リストとして読響、都響、東響、東京フィル等と共に演奏。

室内楽奏者としても国内外の著名なアーティストと多数共演し、オーケストラの客演首席も務めるなど、活躍の幅を広げている。

現代音楽にも意欲的に取り組み、新作委嘱や世界、日本初演も数多い。

第23回ホテルオーケラ音楽賞受賞。

實川 風 (Kaoru JITSUKAWA) Piano

2015年ロン・ティボー国際コンクール第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲賞。2016年カラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位。

上海音楽祭、ソウル国際音楽祭・ノアン・ショパンナイト(フランス)・アルゾノーレ(オーストリア)などの音楽祭に出演。

近年はバッハを演奏活動の中心に据え、2023年にバッハアルバムをキングレコードによりリース。更なる研究のためにチェンバロ演奏にも取り組んでいます。

東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。グラツ芸術大学ポストグラデュエート修了。

2024年4月より、東京藝術大学においてピアノ専任講師を務める。